

コンフォートデルグロ

2015/12 通期は国内・海外事業拡大への期待から増収増益の見通し

シンガポール | 運輸サービス | 業績レビュー

BLOOMBERG CD:SP | REUTERS CMDG.SI

- 2015/12 期 2Q (4-6 月) は、売上高が前年同期比 2.1%増の 10.4 億 SGD、営業利益が同 0.8%増の 1.2 億 SGD、純利益が同 6.9%増の 0.9 億 SGD となった。
- セグメント別の売上高をみると、バス事業、タクシー事業、バス停事業、鉄道事業、点検&テストサービス、車レンタル&リース事業で増収、自動車エンジニアリングサービス、ドライビングセンター事業は減収となった。
- 2015/12 通期について、同社はバス事業、鉄道事業、タクシー事業で引き続き増収を見込む。2015/12 にはシンガポールで Downtown Line 2 (DTL2) の前倒し稼働が見込まれており、国内での鉄道事業の拡大も期待できよう。

What is the news?

2015/12 期 2Q (4-6 月) は、売上高が前年同期比 2.1%増の 10.4 億 SGD、営業利益が同 0.8%増の 1.2 億 SGD、純利益が同 6.9%増の 0.9 億 SGD となった。

セグメント別の売上高をみると、バス事業は為替変動によるマイナス影響を受けながらも堅調な伸びとなり、同 4.1%増となった。タクシー事業は同 3.3%増、バス停事業は同 4.2%増、鉄道事業は同 6.8%増、点検&テストサービスが同 0.7%増、車レンタル&リース事業が同 10.2%増となった一方、自動車エンジニアリングサービスは同 12.1%減、ドライビングセンター事業が同 1.0%減と振るわなかった。また、海外グループ会社からの売上高は全社の 39.5% (前年同期は 41.2%) に減少した。

How do we view this?

2015/12 通期について、同社はバス事業、鉄道事業、タクシー事業で引き続き増収を見込む。また、英国や豪州での現地企業買収など、海外主要市場における業務拡大にも注力する計画。一方、自動車エンジニアリングサービスについては減収、点検&テストサービス、車レンタル&リース事業、ドライビングセンター事業については横ばいと見ている。

コスト圧力や競争激化、政府によるバス・電車運賃値下げ等も予想され、引き続き厳しい状況になることが見込まれるが、国内売上は順調に伸びており、動向に注目したい。2015/12 にはシンガポールで Downtown Line 2 (DTL2) の前倒し稼働が見込まれており、国内での鉄道事業の拡大も期待できよう。

業績推移

※参考レート 1SGD=84.51円

事業年度	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12F	2016/12F
売上高(百万SGD)	3,545	3,748	4,051	4,223	4,359
純利益(百万SGD)	249	263	284	307	337
EPS(SGD)	0.12	0.12	0.13	0.15	0.16
PER(倍)	23.83	23.83	22.00	19.07	17.88
BPS(SGD)	0.96	1.01	1.02	1.08	1.12
PBR(倍)	2.98	2.83	2.80	2.65	2.55
配当(SGD)	0.06	0.07	0.08	0.09	0.13
配当利回り(%)	2.10	2.45	2.80	3.15	4.55

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

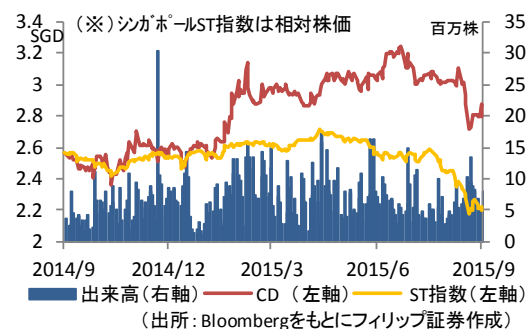
配当予想(USD) 0.09 (予想はBloomberg)
終値(USD) 2.86 2015/9/8

会社概要

2003年に設立したシンガポール国内最大の交通会社。バス、タクシー、自動車リース、レンタル、自動車エンジニアリング、保守サービスの提供、ディーゼル販売に従事。投資目的の売買、車検、査定、広告サービスも手掛けている。中国・英国・豪州・マレーシア・アイルランド・ベトナムに事業を展開している。

企業データ(2015/9/8)

ベータ値	0.83
時価総額(百万SGD)	5,145
企業価値=EV(百万SGD)	6,123
3か月平均売買代金(百万SGD)	19.10



主要株主(2015/9)

株主	(%)
1.The Capital Group Companies	6.04
2.Black Rock	5.99
3.Singapore Labor Foundation	2.44

アナリスト

北浦 優子
+81 3 3668 8664
yuko.kitaura@phillip.co.jp

庵原 浩樹
+81 3 3666 6980
hiroki.ihara@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 北浦優子

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。